

あなたは
スネージナヤ国を
代表する使節か？
ファデュイの執行官！



心配しなくていいよ。
僕はただの個人として
ここにいただけだ

ここには危険も感じるけど、
同時にチャンスも



フォンテーヌが
危機に陥った時、
僕が恩を貸してあげる

その代わりに



その時が来れば分かるよ

何のこゝろ？



どうだい、
ここで一つ
約束をしないか？



僕の思う通りに

あれは…？



ほん！



じゃ僕はここで退場するよ

あなたの答え待っている



はやく下がって、私が対応してやる



助けて、魔物が！

はやく、又ヴェレット様を！

クロリンデ様だ！





これはどういふこと、
どうして私は？

あぁ

!!?

!!?

!!?

はぁ

はぁ

ガッ

ガッ

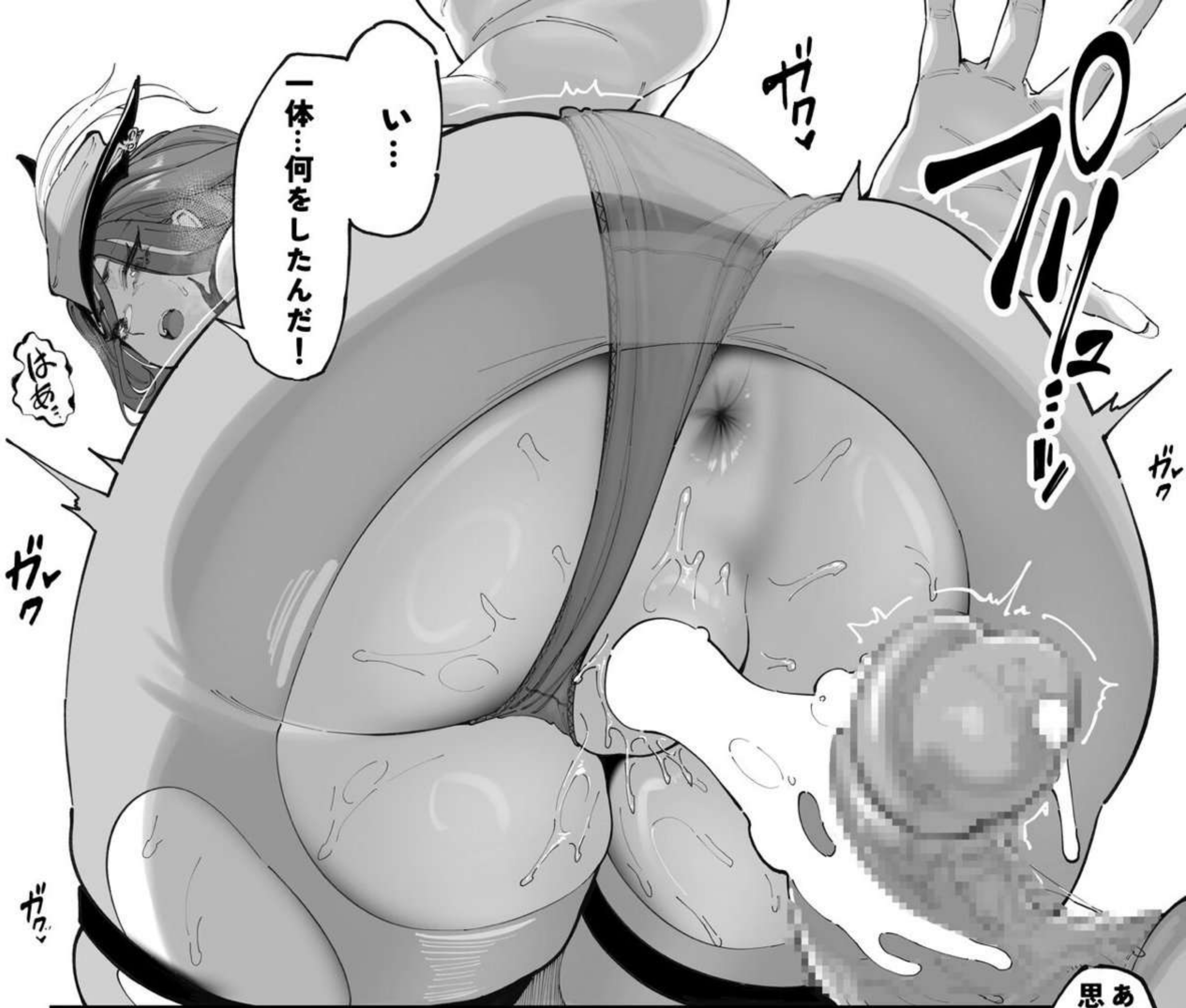
ガッ

ガッ

お二人の
小さな可愛い子たち、
どうして
起きちゃったの？

まだ楽しく
遊んでたのに





い...

一体...何をしたんだ!

ゴッ

ゴッ

はあ...

ガッ

ガッ

ガッ



あらく
思い出せないの?

じゃあ、私がしっかりと
思い出させてあげるね

この記憶は?!

正直、君たちが
そこまで狂ったとは
思わなかったよ

あーあ

こんなやらしいになる
なんで

私はただ、ちょっとだけ
君たちの考えを
いじっただけなのにね

あーあ

あーあ

あーあ

あーあ

あーあ





わ…
私はこんな事を
するなんで

い…いや…
ありえん…

答えは
あんた達の体に問おうよ

これは幻術!?

偽物だと思えますならば…

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

は

は

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

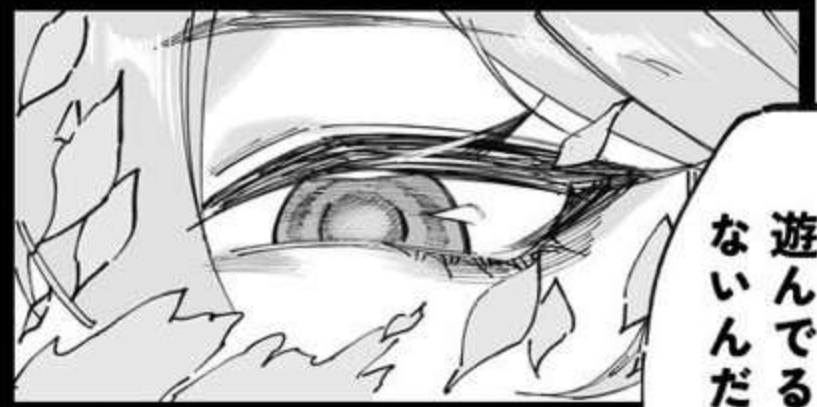
ハハハ

あらら…
止まらないね





すごい場面ね



でも、君たちと遊んでる時間はないんだ。



じゃあね〜

クン…体は…



でも、体は…これくらいは満足できず

一瞬で…何十回も…いた…

もっとももっとの愉快を…



ほ

すごく強い匂いだ

ほろろ...

ほろ

パッパッ

パッパッ

はやく私をいさせて〜

ガク

ガク

ガク

パッパッ



もう息ができなくなる!!?

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ダメダメダメ

ガッ

ガッ

ガッ



ガン
ガン
ガン
ガン

ガン
ガン
ガン
ガン

ガン
ガン
ガン
ガン

まだいちゃう

体はこわしちゃう

下の両方も満たされた

ガン
ガン
ガン
ガン



フワフワ...

はあ...

はあ...

はあ...

これは、愉快し過ぎ

ああ...

はあ...

はあ...

フワフワ...



魔物をいくら倒してもキリがない…

生き残るために…絶対に頑張らなきゃ

ほいあ

ほ

ほ



!?



面白い

しまった

ああ

冷たい機械の中に
こんなにキレイな
少女がいて
どう翻弄する
いいかな

ああ

はあ

はあ